

## I：研究支援体制の強化による産学連携活動の活性化

自然科学系・人文社会系共に、研究支援体制の強化を図り、下記事業に取り組んだ。

### ①自然科学系シーズを活用した産業活性化策の強化

「自然科学系産官学連携研究紹介集」発行（2010年3月）

グローバル産学官連携拠点（一提案機関として参画）への採択

### ②人文社会系シーズを活用した地域活性化策の強化

「人文社会系産官学連携研究紹介集」（2009年3月 第2版発行）等を元に積極的に展開。

中堅専門商社での新人事制度に関する学術指導や京都ブランド活性化事業を手掛けた。

同志社×吉本 京都プロジェクトを開始。

### ③文理融合プロジェクトの促進

「京都未来を担う人づくり」推進事業（09年10月～10年2月）により、文系・理系それぞれ2名を受け入れ、人材の育成を行った。また、産学連携による人材育成セミナーも開催。

中小企業大学校と連携し、中小企業経営者向け連携セミナーを開催。

### ④奨学寄付金、受託研究、共同研究、学術指導の受入

下記の通り、外部資金を獲得。

### ⑤文部科学省、経済産業省などの公的研究資金の獲得

科学技術振興機構「戦略的創造研究推進事業（CREST）」、「研究成果最適展開支援事業フィージビリティスタディ可能性発掘タイプ（シーズ顕在化）」などを新規採択。

文部科学省「都市エリア産学官連携促進事業（発展型）」、「知的クラスター創成事業（第Ⅱ期）」、経済産業省「地域イノベーション創出研究開発事業（農商工連携枠）」やNEDO「エネルギー使用合理化技術戦略的開発」などを継続採択。

### ⑥寄付教育研究プロジェクトの受入

メディカル・ファジィ・リサーチセンターの受入

### ⑦文部科学省「産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）」の実施

昨年度に引き続き、本事業により人文社会系コーディネータ1名を配置

リエゾンフェア（10月30日）開催、大学に於ける著作権・商標管理に関する規程雛形案の作成・報告

### ⑧職務著作権規程（仮称）の整備

大学や専門家へヒアリングを行い、雛形案を検討中

### ⑨知的財産権や成果有体物の社会への還元（取扱い）方法の見直し

見直しに向け、引き続き検討

## II：起業支援事業

継続して独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携強化をはかるとともに、下記の事業に取り組んだ。

### ①連携型起業家育成施設（D-egg）の運営

「made in 同志社、made in D-egg」の実現に向け、入居企業の事業化支援体制を強化。特に、事業化において最大のネックである、営業・販路開拓支援に重点を置き、積極的な展示会出展（年間19

回)、様々なビジネス評価賞への応募(関西フロントランナー大賞受賞、京都府エコプロダクト認定)を実施。更に、京田辺市及び京田辺市商工会と連携し、第1回ビジネスフェア in 京たなべもローム記念館で行い、想定以上の参加者と活発なビジネスマッチングが出来た。

また、金融機関含め各団体と密に情報交換会を開催した。

#### ②学生ベンチャークラブ(DVT)の支援

京都商工会議所との連携による起業相談会等の実施

#### ③ビジネスプラン講座(学生対象:課外講座)、ビジネスプランコンテストなどの開催、運営(外部機関と共同、外部資金の活用)

ビジネスプラン作成合宿(9月9日~11日)、ビジネスプランコンテスト(12月12日)を開催

#### ④リエゾンオフィス講演会:起業家による講演など

リエゾンフェア(10月30日)、同志社大学&池田銀行コラボレーションセミナー(6月27日)などを開催

#### ⑤ベンチャーファンドによるベンチャー企業育成支援

ベンチャー育成支援のため、各種ベンチャーファンドを継続的に保持

### Ⅲ:社会や地域との連携強化

地域に根ざした大学をめざし、社会との連携強化に取り組んだ。

#### ①産学連携交流会の企画・運営

リエゾンフェア(10月30日)、同志社大学けいはんな産学交流会(10月2日)などを開催

#### ②学外との連携会議(定期開催)

京都府、京都市、京都商工会議所:京都産学公連携機構会議、「京都発未来創造型産業創出連携拠点」推進委員会、「京都発未来創造型産業創出連携拠点」推進委員会実務会議

近畿経済産業局:大学連携実務者会議

産業技術総合研究所:近畿地域イノベーション創出協議会幹事会

大学コンソーシアム京都:大学地域連携推進会議、大学と商店街の連携を検討する会

関西文化学術研究都市推進機構:運営会議 など

### Ⅳ:研究成果の社会への還元や知的財産の情報公開

効果的な情報公開を目指すとともに、積極的な研究成果の社会への還元に取り組んだ。

#### ①出展(研究成果の発信の強化)

産学官連携推進会議、中小企業総合展2009 in Kansai、TOYRO ビジネスマッチングフェア、中信ビジネスフェア2009、異業種京都まつり、京都産学公連携フォーラム、〈ナント〉農商工ビジネスフェア2009、京都ビジネス交流フェア2010、イノベーション・ジャパン、日中大学フェア、ビジネスフェア in 京たなべ、ケータイフォーラム など 計46件に出展

#### ②研究にかかわる情報の発信および収集

「自然科学系産官学連携研究紹介集」発行(2010年3月)、ホームページコンテンツの活用、ニューズレター発行(年4回)、メールマガジン発行(月1回)、マスコミへの積極的な情報提供(KBS京都TV紹介、各種新聞記事掲載)

#### ③東京地区での情報発信、産学連携事業

キャンパス・イノベーションセンター東京の活用(CICフォーラムへの参加)

キャンパス・イノベーションセンター東京 J S T 新技術説明会の参加 など

④大学間連携によるシンポジウム開催

関東・関西 10 私大産学連携フォーラム(12月1日)

(早稲田、慶応、明治、日本、中央、東京電機、関西、関西学院、立命館、同志社)

J S T 新技術説明会 関西6私大(2月26日)

龍谷大学ジョイントセミナー(2月15日)

京都発 「産学公連携フォーラム」(11月5日)など

**V：外部ネットワークとの連携強化**

積極的に外部ネットワークと連携し、大学の知を社会に還元すると共に、社会からも情報を得るような仕組み作りを目指した。

①NPO 法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク共同運営事業

ビジネスアトリエの開催(毎月1回 9月開始)

→講演者、参加者の中から D-egg への入居問い合わせ(申請)3件に結びつく

2009年リエゾンフェアでの検討内容を受けて「社会起業家養成システム研究会」立ち上げ(2月26日、3月17日)

→2010年度京都府地域力再生プラットフォーム事業に採択の予定

京都ブランド活性化事業(湯の花温泉、京あられ・京おかき、京都産すぐき)として学生とのプロジェクト形成およびマネジメントの実施

→「京都未来を担う人づくり」推進事業と連携して文系産学連携のモデルケースを作成

②同志社校友会大阪支部産官学部会(LCC)、東大阪リエゾンクローバー倶楽部(HLC)との連携強化

定例会に参加し、情報交換を密に行った。

**VI：その他**

①東京リエゾンオフィス活用

東京地区での情報発信を積極的に行った(IV③参照)。

②学研都市キャンパスの活用

京都環境ナノクラスター(知的クラスター事業)訪問団の受入、地域中学校の見学受入

③クリエイション・コア東大阪の活用

東大阪リエゾンクローバー倶楽部(HLC)との連携強化

④横浜企業経営支援財団との連携強化

産学交流サロン(3月12日)を開催し、横浜・関東地区に向けて、シーズの公開・情報発信を行った。

⑤海外連携拠点との連携についての検討

日中大学フェア(1月29日、30日)への出展

⑥地方公共団体等における政策形成への参画

各地方公共団体への委員の派遣要請、各地方公共団体からの調査依頼等、各地方公共団体からの依頼については、積極的に受け入れた。

以上